

(様式第3号)

## パブリックコメント（意見公募） 手続による意見募集の結果公表

意見募集結果及び寄せられた意見に対する市の考え方について、次のとおり公表します。  
ご協力に感謝申し上げます。

### 【意見募集の集計結果】

1	案 件 名	千歳市障がい者計画・第7期千歳市障がい福祉計画・第3期千歳市障がい児福祉計画（素案）	
2	意見募集期間	令和5年12月18日（月）～令和6年1月19日（金）	
3	意見の件数（提出者数）	27件（6人）	
4	意見の取扱い （対応内容の分類）	① 案を修正するもの	2件
		② 既に案に盛り込んでいるもの	15件
		③ 今後の参考とするもの	9件
		④ 意見として伺ったもの（案件に直接関係がないため）	1件
5	意見の受け取り方法	電子メール	4人
		郵送	－人
		ファクシミリ	－人
		意見箱	1人
		直接持参	1人

千歳市障がい者計画・第7期千歳市障がい福祉計画・第3期千歳市障がい児福祉計画（素案）

【市民意見等の概要とそれに対する市の考え方】

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
1	<p>市内には障がい者マークやステッカーが少なく、あってもわかりにくいので、わかりやすいマークを作ってほしい。将来、支援や手伝いが必要なときに、周りに理解されないと不安である。</p>	1	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>本計画では、障がいへの理解促進のため、ヘルプマーク及びヘルプカードの普及・啓発に努めることとしております。これまで、市ホームページのほか、ポスターやチラシなどによる周知を行い、令和4年度は、窓口において 273 個のヘルプマークを配布しました。</p> <p>また、その他の障がい者マークについても、カラー印刷のパンフレット「ちとせの障がい福祉ガイド」で紹介し、理解促進を図っております。</p> <p>ヘルプマークなど複数のマークについて、全国の自治体を含む関係機関が普及に努め、全国的に認知が進んでいる段階で、本市が新たに独自のマークを作成し、多くの方に認知していただくことは難しいと考えますことから、引き続き既存のマークの普及・啓発に努め、障がいのある人もない人も支え合う地域共生社会の実現を目指してまいります。</p>

2	<p>放課後等デイサービスや、児童発達支援の増加により、サービスを選択できる時代になったと感じているが、事業者の経験や知識に対して、不安がある。経験を積んでもらうしかないと思う。</p> <p>これらのサービスが子どもの預かり施設になっていることが気になっている。誤解している保護者もいるので、きちんと説明してほしい。</p>	1	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <hr/> <p>本計画では、「障害児通所支援提供体制の充実」を主要施策に掲げ、「千歳市障がい者地域自立支援協議会」において支援困難事例や地域課題の共有等を通じ、支援体制の充実と支援の質の向上に取り組むこととしております。障害児通所支援等については、利用する児童の増加が予想されることから、新たな事業者の参入を促進するとともに、事業者に対して各種研修会への参加などを働きかけ、専門性の高い人材の確保や支援の質の向上に努めてまいります。</p> <p>また、いただいたご意見を参考に障害児通所支援等の目的や内容について、利用者に対して周知を図り、理解促進に努めてまいります。</p>
3	<p>子どもへの支援は充実しつつあるが、18歳以上になると実際に受けられるサービスが激減する。重度障がいのある人が市内で生活できない現状を改善するため、本計画を着実に実行してほしい。</p>	1	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <hr/> <p>本計画では、「千歳市障がい者地域自立支援協議会」を通じて、重度障がいのある人等のニーズを把握するとともに、資格取得費用の助成等による事業者の参入促進を図ることとしており、本計画の着実な実行により、重度障がいのある人も、安心して、住み慣れた地域で生活することができるよう、障害福祉サービス等の提供体制の確保に努めてまいります。</p>

4	<p>千歳市には自閉スペクトラム症のアセスメントである PEP-3 又は PEP-R 検査キットがあるので、積極的に活用し、全国のモデルになるような「つながる支援」を実施してほしい。</p>	1	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>本計画では、公設公営の千歳市児童発達支援センターを地域の障がい児の健全な発達において中核的な役割を果たす機関と位置づけ、更なる機能の充実と質的向上を進め、児童発達支援センターを中心とした重層的な障がい児支援体制の整備に努めることとしております。自閉スペクトラム症のアセスメントツールについては、運用できる職員が限られていることから、有効に活用できるよう専門職員の人材育成に取り組んでまいります。</p> <p>また、市内の障害児通所支援事業所に対する支援内容等への助言や援助などに取り組み、障がい児支援の質の向上と連携体制の充実に努めてまいります。</p>
---	---	---	--

5	<p>福祉サービス利用券を「さわやか健診」などの受診費用として利用したい。</p>	1	<p>分類～③今後の参考とするもの</p> <p>「さわやか健診」は、19歳から39歳までの人を対象とした健康診査で、北海道対がん協会に委託して実施しております。およそ10,000円の健診費用のうち、市の助成により、自己負担額は一律1,000円としており、健診受診に係る経済的負担を軽減することで、生活習慣病などの予防や早期発見に努めているところです。</p> <p>一方、福祉サービス利用券は、高齢者及び障がいのある人に対し、タクシー及びハイヤー、公衆浴場、温泉、バス、あんま、はり、灸、マッサージ、理容所、美容所の利用費用を市が助成することにより、積極的な社会参加の促進などを目的とするものです。</p> <p>本市の健康診査は、健診費用の助成のほか、独自に検査項目を追加し、内容の充実を図っていることから、福祉サービス利用券の適用など、更なる助成の拡大は検討しておりませんが、今後も健診の周知・啓発を行うとともに、福祉サービス利用券については、事業の目的とニーズを踏まえ、利用者が使いやすいサービス内容となるように努めてまいります。</p>
---	---	---	---

6	<p>障がいのある人が被災した場合を想定したマニュアルや役立つパンフレットや関連サイトなどを一覧できるようなものがほしい。</p>	1	<p>分類～③今後の参考とするもの</p> <p>本計画では、「地域防災体制の強化」を主要施策に掲げ、「避難行動要支援者避難支援プラン（全体計画）」に基づき、関係団体や地域住民との連携による円滑な避難支援体制づくりを推進することとしております。</p> <p>いただいたご意見を参考に、今後、障がいのある人に向けた防災情報の発信に関する取組を検討してまいります。</p>
7	<p>私立幼稚園において、発達障がい児の対応、支援、対策が周知されていないと感じる。先生が障がい児の対応を理解していない。研修が必要である。</p> <p>すべての私立幼稚園に特別支援枠を作り、補助金がなくても障がい児の受入れを考えてほしい。発達障がい児は増えると思うので、保育士確保は難しく、園側の意見もあると思うが、障がい児の通える幼稚園対策を考えてほしい。幼児期の環境づくりや支援がないと、将来の不安が増える。</p>	1	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>本市では、発達に心配のあるなしにかかわらず、すべての子どもを集団保育するインクルージョン保育を推進しており、幼稚園を含む教育・保育施設職員を対象に支援の質の向上を目的とした研修会を毎年複数回開催しているほか、発達障がい等に関する知識を有する専門職員が、認定こども園等を直接訪問して保育士等に助言を行うなどの後方支援に取り組むなど、子ども一人ひとりの状況に応じた適切な保育を行う体制の充実に取り組んでいるところです。</p> <p>また、特別支援保育枠の私立幼稚園への拡充につきましては、障がいのある子どもへの対応件数の増加、職員確保の問題を含め、今後の課題と捉えており、市が掲げるインクルージョン保育の考え方にに基づき、関係機関との連携を図りながら、取組を進めてまいります。</p>

<p>8</p> <p>『こども相談支援室あーち』の支援体制を強化する」とあるが（P48）、どのような方法で強化するのか具体的に示してほしい。</p> <p>相談支援専門員の確保について、「こども相談支援室あーち」の相談支援専門員を増員する考えはないのか。民間との連携はよいが、自前で増員しない理由を示してほしい。</p>	<p>1</p> <p>分類～①案を修正するもの</p> <p>本計画では、主要施策として「障害児相談支援提供体制の確保」を掲げており、千歳市児童発達支援センターの「こども相談支援室あーち」の支援体制については、相談支援専門員の増員を図り、障害児支援利用計画の対象者拡大に努めることとしております。本計画の着実な実行により、進学や就労に向けて相談支援を必要とする児童が、安心して、住み慣れた地域で必要な支援を利用しながら生活することができるよう、障害児相談支援の提供体制の確保に努めてまいります。</p> <p>いただいたご意見を参考にして、「こども相談支援室あーち」の強化内容について、表現を次のとおり見直しました。</p> <p><b>P48（4）障害児相談支援提供体制の確保</b></p> <table border="1" data-bbox="1126 874 1973 1362"> <thead> <tr> <th data-bbox="1126 874 1547 927">修正後</th> <th data-bbox="1547 874 1973 927">修正前</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1126 927 1547 1169">◆進学や就労に向けて障害児支援利用計画を必要とする児童に対応できる障害児相談支援の提供体制の確保に取り組みます。</td> <td data-bbox="1547 927 1973 1169">◆障害児支援利用計画の対象者拡大に努め、地域相談支援などに対応できる障害児相談支援の提供体制の確保に取り組みます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1126 1169 1547 1362">◆「こども相談支援室あーち」の相談支援専門員を増員し、障害児支援利用計画の対象者拡大に努めます。</td> <td data-bbox="1547 1169 1973 1362">◆「こども相談支援室あーち」の支援体制を強化します。</td> </tr> </tbody> </table>	修正後	修正前	◆進学や就労に向けて障害児支援利用計画を必要とする児童に対応できる障害児相談支援の提供体制の確保に取り組みます。	◆障害児支援利用計画の対象者拡大に努め、地域相談支援などに対応できる障害児相談支援の提供体制の確保に取り組みます。	◆「こども相談支援室あーち」の相談支援専門員を増員し、障害児支援利用計画の対象者拡大に努めます。	◆「こども相談支援室あーち」の支援体制を強化します。
修正後	修正前						
◆進学や就労に向けて障害児支援利用計画を必要とする児童に対応できる障害児相談支援の提供体制の確保に取り組みます。	◆障害児支援利用計画の対象者拡大に努め、地域相談支援などに対応できる障害児相談支援の提供体制の確保に取り組みます。						
◆「こども相談支援室あーち」の相談支援専門員を増員し、障害児支援利用計画の対象者拡大に努めます。	◆「こども相談支援室あーち」の支援体制を強化します。						

		<p><b>P96 (4) 障害児相談支援提供体制の確保</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1126 288 1547 336">修正後</th> <th data-bbox="1547 288 1973 336">修正前</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1126 336 1547 772"> <p>「こども相談支援室あーち」の相談支援専門員を増員するとともに、相談支援専門員の養成や相談支援事業所の開設を民間事業所等に働きかけるなど、児童を主たる対象とした相談支援専門員の確保を目標として取り組みます。</p> </td> <td data-bbox="1547 336 1973 772"> <p>「千歳市障がい者総合支援センターChip (ちっぷ)」を中心とした民間の相談支援事業所や関係機関と連携を図るとともに、児童を主たる対象とした相談支援専門員を増員するため、相談支援専門員の確保を目標として取り組みます。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p><b>P99 ②障害児相談支援 【見込量確保のための方策等】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1126 871 1547 919">修正後</th> <th data-bbox="1547 871 1973 919">修正前</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1126 919 1547 1259"> <p>「こども相談支援室あーち」の相談支援専門員を増員するとともに、相談支援専門員の養成や相談支援事業所の開設を民間事業所等に働きかけるなどして、人材の確保に努めます。</p> </td> <td data-bbox="1547 919 1973 1259"> <p>相談支援専門員の養成と相談支援事業所の開設を障害児通所支援事業所に働きかけるなど、障害児相談支援の提供体制の確保に努めます。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	修正後	修正前	<p>「こども相談支援室あーち」の相談支援専門員を増員するとともに、相談支援専門員の養成や相談支援事業所の開設を民間事業所等に働きかけるなど、児童を主たる対象とした相談支援専門員の確保を目標として取り組みます。</p>	<p>「千歳市障がい者総合支援センターChip (ちっぷ)」を中心とした民間の相談支援事業所や関係機関と連携を図るとともに、児童を主たる対象とした相談支援専門員を増員するため、相談支援専門員の確保を目標として取り組みます。</p>	修正後	修正前	<p>「こども相談支援室あーち」の相談支援専門員を増員するとともに、相談支援専門員の養成や相談支援事業所の開設を民間事業所等に働きかけるなどして、人材の確保に努めます。</p>	<p>相談支援専門員の養成と相談支援事業所の開設を障害児通所支援事業所に働きかけるなど、障害児相談支援の提供体制の確保に努めます。</p>
修正後	修正前									
<p>「こども相談支援室あーち」の相談支援専門員を増員するとともに、相談支援専門員の養成や相談支援事業所の開設を民間事業所等に働きかけるなど、児童を主たる対象とした相談支援専門員の確保を目標として取り組みます。</p>	<p>「千歳市障がい者総合支援センターChip (ちっぷ)」を中心とした民間の相談支援事業所や関係機関と連携を図るとともに、児童を主たる対象とした相談支援専門員を増員するため、相談支援専門員の確保を目標として取り組みます。</p>									
修正後	修正前									
<p>「こども相談支援室あーち」の相談支援専門員を増員するとともに、相談支援専門員の養成や相談支援事業所の開設を民間事業所等に働きかけるなどして、人材の確保に努めます。</p>	<p>相談支援専門員の養成と相談支援事業所の開設を障害児通所支援事業所に働きかけるなど、障害児相談支援の提供体制の確保に努めます。</p>									

<p>9</p>	<p>『千歳市障がい者地域自立支援協議会』を通じて障がいのある人への差別に関する情報共有や事例研究を行う」とあるが (P.31)、障がいのある人への差別に関する情報共有は、それ以外の障がいに関わる事業所や団体にも広く共有し、差別に関する情報発信をしていくべきではないか。</p>	<p>1</p>	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>市や相談支援事業所等に障がい者差別に関する相談などが寄せられた場合は、「千歳市障がい者地域自立支援協議会」に設置する「差別解消・虐待防止専門部会」の中で共有し、事例の研究をすることとしておりますが、当事者のプライバシー保護の観点から、個別事例の公表はしておりません。</p> <p>これら事例研究の成果や国の対応指針などを踏まえて、「合理的配慮事例集」や理解促進のためのリーフレット等を作成・配布し、広く一般に向けた情報発信に努めております。</p>
<p>10</p>	<p>①「災害発生時、必要に応じて福祉避難所を開設する」とあるが (P.35)、福祉避難所が後回しのように感じる。平時から福祉避難所が開設されることが当たり前となるような準備をし、事前に体験できるような整備が必要ではないか。</p> <p>②「災害発生時、必要に応じて福祉避難所を開設する」とあるが (P.35)、必要に応じてからでは、緊急時の対応としては遅いと思う。</p>	<p>2</p>	<p>分類～③今後の参考とするもの</p> <p>福祉避難所は、災害発生時に一旦指定避難所に避難していただき、その避難所の中で、配慮が必要な人については、居住場所などを配慮したうえで、避難が長引くことによって生活に支障がある、あるいは、そこで継続して生活することが困難な障がいのある人などの要配慮者を受け入れるために開設することとしております。</p> <p>福祉避難所では、開設後、保健師や介護福祉士、ボランティア等による福祉的支援が必要なことや、災害の種類や規模により、場所や収容人数などの課題もありますことから、福祉避難所の在り方については、継続的に検討してまいります。</p>

11	<p>『千歳市消費生活センター』において悪質商法等の消費生活相談に対応する」とあるが (P.36)、障がいの特性を理解した相談員を育成することが必要なのではないか。</p>	1	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>「千歳市消費生活センター」に障がいのある人又はその家族等から相談が寄せられた場合は、その障がい特性に応じ、適切な合理的配慮を提供しているほか、「千歳市障がい者総合支援センターChip (ちっぷ)」や本人が利用する障害福祉サービス事業所などの関係機関と連携を図り、解決に向けた助言や情報提供などを行っております。</p> <p>相談員の育成につきましては、国民生活センター等が実施する研修などの機会を通して、スキルアップを図ってまいります。</p>
12	<p>今後、「(仮称) 千歳市コミュニケーション条例」の制定を目指すのであれば、点訳や音訳等の養成にも力を入れるべきではないか。現在、点訳・音訳はボランティアが担っていると聞くが、手話通訳者や要約筆記者と同様の待遇とすることが大切ではないか。</p>	1	<p>分類～③今後の参考とするもの</p> <p>ご意見のとおり、「千歳市点字図書室」において貸し出している点訳・音訳図書は、支援団体のボランティア会員が製作しております。</p> <p>本計画では、意思疎通支援の充実と市民による自発的活動の支援という両方の観点から、奉仕員養成研修事業を実施し、点訳・音訳サービス等を行うボランティアを養成することとしており、令和4年度末のボランティア会員数は、令和3年度末から5名増加しております。</p> <p>ボランティアは、目指すべき「地域共生社会」の実現に必要な不可欠なものとして、引き続き養成や活動への支援に努めますが、いただいたご意見については、支援団体の声や他自治体の事例などを踏まえて調査研究してまいります。</p>

13	<p>コミュニケーション支援ボードやコミュニケーションノートなど、意思疎通の支援ツールの周知をしていくことも必要ではないか。</p>	1	<p>分類～③今後の参考とするもの</p> <p>本市では、これまでに、コミュニケーション支援ボードを作成し、選挙投票所へ設置するなど、意思疎通の支援ツールの利用促進に取り組んでまいりました。</p> <p>さらに、障がい特性に応じたコミュニケーション手段の理解や利用の促進を図るため、現在、「(仮称)千歳市コミュニケーション条例」の制定を目指しており、「千歳市障がい者地域自立支援協議会」の中に専門部会を立ち上げ、障がいのある人や意思疎通に配慮が必要な人の意見を伺っているところです。</p> <p>いただいたご意見については、条例に基づく具体的な施策展開に向けて調査研究してまいります。</p>
14	<p>「雇用・就労の推進」について、主要施策の内容が就労に偏って見える。雇用に関しては、千歳市役所の障がい者雇用の拡大のみなので、企業に対する周知啓発に関する取組も主要施策とするべきではないか。</p>	1	<p>分類～①案を修正するもの</p> <p>本計画で目指す「雇用・就労の推進」においては、具体的な取組として、「障がい者就労支援事業」を実施することとしており、これは、障がいのある人だけでなく、雇用者である企業の双方を支援するものです。「就労推進室やませみ」において、企業に対する周知啓発に取り組むとともに、就労後の職場定着に向けた双方へのフォローアップを行うことで、障がい者雇用の促進を図っております。</p> <p>いただいたご意見を参考にして、「障がい者就労支援事業」の取組内容について、次のとおり表現を見直しました。</p>

		<p>P53 (2) 一般就労の促進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1126 240 1547 288">修正後</th> <th data-bbox="1547 240 1973 288">修正前</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1126 288 1547 628"> <p>◆「障がい者就労支援事業」において、障がいのある人と企業の双方に対する支援及び関係機関との連携を強化し、障がいのある人の一般就労及び職場定着に向けた支援を推進します。</p> </td> <td data-bbox="1547 288 1973 628"> <p>◆「障がい者就労支援事業」において、関係機関との連携を強化し、障がいのある人の一般就労及び職場定着に向けた支援を推進します。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	修正後	修正前	<p>◆「障がい者就労支援事業」において、障がいのある人と企業の双方に対する支援及び関係機関との連携を強化し、障がいのある人の一般就労及び職場定着に向けた支援を推進します。</p>	<p>◆「障がい者就労支援事業」において、関係機関との連携を強化し、障がいのある人の一般就労及び職場定着に向けた支援を推進します。</p>
修正後	修正前					
<p>◆「障がい者就労支援事業」において、障がいのある人と企業の双方に対する支援及び関係機関との連携を強化し、障がいのある人の一般就労及び職場定着に向けた支援を推進します。</p>	<p>◆「障がい者就労支援事業」において、関係機関との連携を強化し、障がいのある人の一般就労及び職場定着に向けた支援を推進します。</p>					
15	<p>「福祉施設の入所者の地域生活への移行」について、目標値が施設入所者数の削減となっている(P59)。国の方針は分かるが、施設入所者数の増加が地域移行の妨げにはならないと思う。重度障がいのある人に対応したサービスの提供体制の確保が課題なのであれば、その提供体制が目標値となるべきではないか。</p>	<p>1 分類～③今後の参考とするもの</p> <p>本市に所在する障害者支援施設の指定権限をもつ北海道では、国の基本指針を踏まえ、「第1期ほっかいどう障がい福祉プラン」において、基本的に施設の創設は行わず、現在入所している人について、円滑に地域生活への移行が図られるような体制の整備を進めるとともに、施設入所支援を必要とする障がいのある人の状況を考慮し、全道一圏域で広域的に入所定員の調整を行うこととしております。</p> <p>本計画においても、現在入所している人の地域移行を推進するため、重度障がいのある人に対応したグループホーム及び訪問系・日中活動系サービスの提供体制の確保に努めることとしており、その成果を評価する目標値として、国の基本指針に従い、施設入所者の削減数を設定しております。</p> <p>今後も計画における成果目標の設定については、国の基本指針と地域の実情を踏まえ、適切に判断してまいります。</p>				

<p>16</p>	<p>「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築」に関する協議の場の開催回数の目標値が「1回以上／年」となっているが（P60）、目標設定と検証実施で少なくとも2回は必要である。協議が必要な内容に合わせた回数を目標値としたほうがよいのではないか。</p>	<p>1</p>	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>本計画では、「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築」に関する協議の場における検証は、計画の進行管理（P102～103）と同様に、PDCA サイクルによる評価を受けることとしております。</p> <p>評価の客観性を担保するため、協議の場の中で検証を実施するのではなく、別機関への報告・評価を想定していることから、協議の場の最低必要回数は1回となります。</p> <p>現在、本市には協議の場の設置がなく、設置に当たっては、人材の確保などの課題も多く、相当の時間を要するため、本計画においては、第1回目の開催を目指して取組を進めることとしております。</p>
-----------	--	----------	--

17	<p>施設における虐待防止・早期発見において、知的障がいのある人や子どもは自ら発信することは難しいと思うので、抜き打ちで調査等してほしい。</p>	1	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>指定障害福祉サービス事業者に対しては、サービスの質の確保・向上及び事業運営の適正化、利用者の人権の養護、虐待防止のための体制整備を図るため、指定権限のある北海道が定期的な実地指導を行っております。</p> <p>また、障害者虐待防止法では、障がい者本人だけでなく、障がい者虐待を発見した人に対する市町村への通報義務が定められており、国の指定障害福祉サービス事業者等指導指針では、障がい者虐待が疑われる場合、市町村等は、事前に通知なく、施設に対する実地指導を行うことができるとされています。</p> <p>本市においては、今後も、法令根拠等に基づき、虐待通報の緊急性を考慮して適切に対応するとともに、障がい者虐待の通報義務をはじめとする法の周知啓発を行い、障がい者の虐待防止・早期発見に努めてまいります。</p>
18	<p>ヘルプマーク以外にも様々なマークがあるので、それらの周知も含めてほしい。</p> <p>また、障がいに関する様々な国際デーがあるので、それらも各団体と盛り上げてほしい。</p>	1	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>本計画では、「広報・啓発活動の充実」を主要施策に掲げており、その中の具体的な取組として、これまでに、「ちとせの障がい福祉ガイド」における各種障がい者マークの紹介や世界自閉症啓発デーにおける総合福祉センターのブルーライトアップなどの啓発活動を行いました。</p> <p>今後も多様な媒体を活用した広報・啓発活動を推進し、障がいに対する理解促進を図ってまいります。</p>

<p>19</p>	<p>数年前、除雪車により道路の点字ブロックが剥がされていた（中央大通り）。 除雪事業者に対し、指導はしているのか。</p>	<p>1</p>	<p>分類～④意見として伺ったもの</p> <p>道道早来千歳線（道道258号：中央大通）の道路管理者である北海道に確認したところ、「道路の除雪作業に当たっては、道路上の点字ブロックなど施設の破損には十分注意し作業を行うよう除雪業者に指導を行っている。なお、道路パトロールなどにおいて、道路施設の破損を確認した際には、必要に応じて補修等を行っているところであり、引き続き、安全な道路環境の確保に努めてまいります。」としております。</p> <p>また、市道の除雪についても、北海道と同様の対応を行っているところであり、今後も関係機関等と連携し、安全で安心できる道路環境の確保に努めてまいります。</p>
<p>20</p>	<p>「セルフプランによる障害児通所支援事業の利用者が多数を占める」とあるが（P46）、就学後はセルフプランが当たり前だと思う誤解により、障がい当事者アンケート結果でも、「千歳市障がい者総合支援センターChip（ちっぷ）」の認知・利用率が低かったのだと思う。就学後もスムーズに相談支援を継続利用できる体制の強化を求める。</p>	<p>1</p>	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>本計画では、主要施策として「障害児相談支援提供体制の確保」を掲げており、千歳市児童発達支援センターの「こども相談支援室あーち」の相談支援専門員を増員するとともに、相談支援専門員の養成や相談支援事業所の開設を民間事業所等に働きかけるなど、児童を主たる対象とした相談支援専門員の確保を目標として取り組み、障害児支援利用計画の対象者拡大に努めることとしております。</p> <p>本計画の着実な実行により、就学後も相談支援を継続して利用できるよう障害児相談支援の提供体制の確保に努めてまいります。</p>

21	<p>「在宅で、常に紙おむつを必要とする重度障がいのある人に対し、紙おむつを支給する」とあるが（P39）、対象となる障がい等級の要件を緩和してほしい。療育手帳 B 判定でおむつが取れない子どもは多い。</p>	1	<p>分類～③今後の参考とするもの</p> <p>紙おむつの支給については、国が定める規定に基づく「日常生活用具給付事業」を実施しているほか、「障害者紙おむつ支給事業」として、市独自に対象者を拡大して実施しております。</p> <p>本事業は、重度障がいのある人の日常生活の向上及び介護する家族の経済的負担の軽減を図ることを目的としているため、現在のところ、対象範囲を療育手帳 B 判定（中度・軽度）まで拡大する予定はありませんが、今後も障がいのある人に対する経済的負担の軽減に努めてまいります。</p>
----	--	---	--

22	<p>「特別支援保育事業」の受入れ枠が狭いと感じる。私立幼稚園をはじめ、1号認定を希望すると、入園を断られることもあると聞く。交付された補助金は、該当園児に対する職員の加配のために使われているのか不明な点もある。障がいのある子どもが1号認定又は私立幼稚園へ入園を希望した場合、スムーズに職員の加配をつけることができるシステムはないのか。</p> <p>また、「特別支援保育事業」の2号認定の場合は、受入れ時間が9時から16時までと決まっており、フルタイムで働くことができない。児童発達支援の事業所も増えたが、遅くまで預かる施設は少なく、専門員がいるとは限らない。柔軟に延長保育の利用ができるよう検討してほしい。</p>	1	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>特別支援保育の職員加配につきましては、毎年夏から秋にかけて行っている「特別支援保育事業」の申請に合わせ、市内認定こども園及び認可保育所における対象児の認定状況や人数により調整した上で行ってまいります。</p> <p>私立幼稚園への職員加配においては、今後「特別支援保育事業」の拡充に向けた課題として捉えており、関係機関と連携を図りながら、取組を進めてまいります。</p> <p>また、受入れ時間につきましては、インクルージョン保育の考え方に基つき、集団保育を行う中での育ちを促すことを目的としていることから、多くの子どもが登園し、かつ安全管理に十分な保育士の数が確保されている時間帯に実施する必要があり、これを踏まえ、施設長が子どもの状態を考慮し認定された保育時間での保育が難しいと判断した場合は「規則第3条第1項の規定により認定された保育標準時間または保育短時間とは別に、個々に保育時間を定めることができる」としてまいります。</p> <p>そのため、子どもの状態と安全管理の観点から職員体制の整いやすい、平日の午前9時から午後4時までの間でのご利用となる場合が多くなってはおりますが、現在入園中で、施設からの通告により特別支援枠に切り替える子どもの保育時間については、在籍施設にご確認いただきますようお願いいたします。</p>
----	---	---	---

23	<p>特別支援学校や特別支援学級の児童生徒について、交通費の一部が助成されているが、週1日以上、デイサービス等の送迎を利用している場合は、助成の対象外となる。各校に支援学級ができて、送迎家庭は減ったかもしれないが、毎朝、自家用車で送迎している家庭も多い。助成要件の緩和を検討してほしい。</p>	1	<p>分類～③今後の参考とするもの</p> <p>通学費の助成につきましては、「特別支援学級等通学費助成要綱」に基づき、通学の方法や距離などに応じて、登下校の往復、登校又は下校のいずれか片道に係る交通費の助成を行っているところであります。特別支援学級の児童生徒の就学に係る保護者の経済的な負担を軽減するため、ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
24	<p>障がいのある人が生まれ育った地域で余暇活動ができる取組を充実させてほしい。今回この素案で「地域活動支援センター」を初めて知った。</p>	1	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>「地域活動支援センター」は、障がいのある人へ創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流促進を図るための通所施設です。本市においては、創作的活動機会の提供を行う基礎的事業のほかに、強化事業として、精神保健福祉士等の専門職員を配置し、相談支援や地域の社会基盤との連携強化、各種普及啓発なども行っています。</p> <p>本計画においては、「地域活動支援センター」の充実のほか、「文化芸術・スポーツ・レクリエーション活動及び生涯学習の支援」や「外出や移動の支援」を主要施策としており、障がいのある人が生まれ育った地域で余暇活動を楽しみながら、自立した生活を送ることができるよう、本計画の着実な実行に努めてまいります。</p>

25	<p>障がい者数の将来推計について、「将来推計人口及び令和2年度から令和4年度までの障害者手帳別の伸び率の平均をもとに令和8年度まで推計した」とあるが（P16）、将来推計人口の資料も令和2年度作成のもので、ラピダス関連で人口増加が期待されている中、見込みが甘いのではないか。</p>	1	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>本計画では、計画期間中に必要とするサービス等の量を見込むため、「千歳市人口ビジョン」の総人口推計と障害者手帳別の伸び率の平均をもとにして、障がい者数を推計しております。</p> <p>障がい者人口の実数と計画値との乖離が大きくなり、計画の実効性に欠く場合は、計画値の見直しを検討することとしておりますが、今後、ラピダス社の立地に伴い、本市の総人口推計が上方修正された場合でも、障がい者人口の緩やかな増加傾向は変わらないと見込まれるため、サービス見込量等の計画値に大きな影響はないものと考えております。</p>
26	<p>「障がいのある人の地域移行を推進するため、保健・医療・福祉関係者の連携強化を目指す」（P40）とあるが、特に医療について、難病の治療を望むが精神の障がいがあることを理由に入院や治療を断られる現状がある。保健・医療・福祉の横断的な対応と情報共有により、障がいがあっても生きる権利が守られることを切に願う。</p>	1	<p>分類～②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>本計画では、「保健・医療・福祉の連携による相談支援体制の充実」や「難病患者支援の実施」などを主要施策に掲げ、関係機関と連携した精神保健に関する相談体制の充実、障がいの特性に配慮した適切な保健・医療サービスの利用支援、難病患者の地域生活などに関する相談や特性に応じたサービスの提供に努めております。引き続き、各種取組を推進し、本計画の基本理念である「障がいのある人が、安心して、自立した生活を送ることができる地域共生社会の実現」を目指してまいります。</p>

<分類の説明>

①案を修正するもの、②既に案に盛り込んでいるもの、③今後の参考とするもの、④意見として伺ったもの（案件に直接関係がないため）